

平成28年度 重点目標達成のための行動計画（アクションプラン）

本年度の重点目標「自己肯定感の向上」（自他のよさを表現できる子の育成）

- **真剣に本を読む子**（落ち着いた学習に取り組む子の育成）
一人当たりの年間読書冊数…低学年90冊、中学年70冊、高学年50冊以上（読書カード） 80%以上
朝読書の開始時刻を守って10分間読書する（児童・教員アンケート） 95%以上
- **「おはよう」「はい」「ありがとう」が言える子**（健やかな人間関係を築く子の育成）
「おはよう」が言える。（児童・保護者・教員アンケート） 95%以上
「はい」と返事ができる。（児童・保護者・教員アンケート） 95%以上
「ありがとう」が言える。（児童・保護者・教員アンケート） 95%以上
- **友達の良いところを見つけて表現できる子**
友達の良いところを見つけて伝えることができる。（児童・保護者・教員アンケート） 90%以上

前年度

前年度は、「自己肯定感の向上」（自分のよさを表現できる子）を目指して、「真剣に本を読む子」「『おはよう』『はい』『ありがとう』が言える子」という2つの子供像の実現に向けて取り組んできた。

「真剣に本を読む子」に関して、目標の年間読書冊数（低学年90冊、中学年70冊、高学年50冊以上）を達成できた児童は65%と目標には届かなかったが、朝読書はかなり習慣化してきた。「『はい』『ありがとう』が言える子」に関しての肯定的評価は、児童、保護者とも89%に達したが、挨拶や返事の声が小さいという課題は残った。

そこで今年度は読書冊数や挨拶、返事については引き続き、同じ達成目標を設定し、落ち着いた学習環境と良好な人間関係を築くことを重視するとともに、達成目標に「友達の良いところを見つけて表現できる子」を加え、重点目標「自他のよさを表現できる子の育成」を目指す。自分だけでなく友達の良いところを伝え合うことによって、自信をもって自分を表現できるよう指導していきたい。

行動Ⅰ

真剣に本を読む子

- ① 読書がしたくなる環境づくり
 - ・ 朝読書の一層の推進
 - ・ 図書委員会の取組
 - ・ 読書記録の蓄積
- ② 家庭との連携
 - ・ 読書、音読等の自主学習推進
- ③ 家庭への啓発
 - ・ ファミリー読書の実施
 - ・ ノーメディア週間の実施

「おはよう」「はい」「ありがとう」が言える子

- ① 「国吉っ子生活習慣スタンダード」の徹底、焦点化、意識化
- ② 好ましい集団づくり
 - ・ ソーシャルスキルトレーニング、構成的グループエンカウンターの実施
- ③ 児童会による取組
 - ・ 挨拶運動、「あったか言葉」運動の実施

友達の良いところを見つけて表現できる子

- ① 様々な活動後に友達の良いところを振り返る場の設定
- ② 児童会による取組

中間評価

- 中間評価
 - ・ アンケート形式による、児童評価・保護者評価・教員評価を行う。
 - ・ アクションプラン2部会（学習・生活）において活動内容を企画・運営する。
 - ・ アンケート結果やアクションプランに関わるデータを分析し考察する。さらに、対策を練り、職員会で提案する。
 - ・ 分析結果及び対策を職員会で検討し、プランの見直しや具体的な改善策を検討する。
- 公開について
 - ・ 取組や達成状況・課題・今後の取組等をホームページ・学校たよりに掲載する。
 - ・ 学校評議員会で説明し、意見交換を行う。（第1回：6月、第2回：11月、第3回：2月）

行動Ⅱ

※ 中間評価結果を受けて、具体的な取組や達成目標を見直し、検討する。

年度末評価

- 年度末評価
 - ・ 2指導委員会において、年度末評価結果の分析を行う。また、分析結果を基に、次年度に向けて対策を練り、職員会で検討する。
- 公開について
 - ・ 取組や達成状況・課題・今後の取組等をホームページ・学校たよりに掲載する。

次年度

・ 各種調査やアンケート結果の分析を基に、次年度目指すべき方向を明確にし、重点目標を設定する。

